

生涯教育セミナーシラバス

科目名	がん登録データ活用論	科目区分	時間	回数
担当講師	三橋、初山（がん登録セミナー班）	中級	90分	--

講義概要

がん登録に係るデータの利活用については、がん登録推進法や院内がん登録に係る指針のなかでも示されているとおり、大変重要な業務の一つであるが、日々の登録業務に追われ、利活用まで行えていない施設も多いと推察される。

本講義では、利活用の手法のヒントをつかむことを目的として、臨床・疫学の視点から、がん登録が実際どのように利活用されているのか解説を行い、既存報告書を見る際のポイントや注意点、統計資料の作成方法について学習する。また、データの品質管理や病院マネジメントの視点からのデータ利活用についても解説する。

講義の目標

- ・がん登録がどのような形で利活用されているのかを理解する
- ・既存報告書を見る際のポイントや注意点について理解する
- ・統計資料の作成方法について理解する
- ・データの品質管理手法について理解する
- ・病院マネジメントの視点でのデータ活用方法について理解する

講義内容

- 1.がん登録が利活用されているデータについて
- 2.既存報告書のデータを見る際のポイントや注意点について
- 3.統計資料の作成方法について（院内がん登録全国集計使用）
- 4.QlikVIEWを使用したデータの品質管理手法について
- 5.病院マネジメントでのがん登録データ利活用方法について

生涯教育プレセミナーシラバス

科目名	研究・発表 -基本のキ-	科目区分	時間	回数
担当講師	久保 博文	中級	90分	--

講義概要
<p>診療情報管理士業務として、診療情報データを用いた分析が盛んに行われるようになり、医療マーケティング等で効果的に活用することが昨今求められている。一方、医療現場では、近年C IやQ Iと共にエビデンス（科学的根拠エビデンスに基づく医療）= EBM）も求められる。</p> <p>診療情報管理士養成カリキュラムのには、『研究』に関する単元が無く、先人達は様々な方法でスキルを磨いてきている。</p> <p>本講義では、『研究』を基本的なところから学び、日本診療情報管理学会や北海道診療情報管理研究会での発表につながることを期待している。</p>
講義の目標
<p>研究（発表）の手順・取り組み方を学ぶ。</p> <p>日々業務で実施していることに着目して研究（発表）につなげる。</p> <p>『来年の学会や北海道診療情報管理研究会で発表してみよう！』</p>

講義内容
1.研究のはじめ方 リサーチクエストと決定までのプロセス
2.研究計画書の作成
3.研究成果をまとめる
4.研究成果を伝える
学会発表、研究論文の投稿